

授業科目名	青年心理学		科目コード	204045		
開講クラス	こども未来科	コース	保育士・幼稚園教諭	学 年	3 年	
担当教員	非常勤講師		実務経験教員 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)			
	実務経験内容 大学や専門学校で長年学生と関わる機会をもち、同時に医療機関に心理師として勤務し、不登校や精神的不調を訴える青年のカウンセリングや支援に従事。青年期は、精神的混乱に陥りやすい時期であるという臨床現場での経験も活かしながら、学生が対人援助者として自己覚知を深められるような講義を行う。					
開講時期	<input type="checkbox"/> 前期 ・ 後期 ・ 通年 ・ 特別講義 ・ その他			授業コマ数	30 時間	
	<input checked="" type="checkbox"/> 必 須 ・ 選 択 ・ 選択必須			単 位 数	2 単位	
使 用 テキスト 1	書 名	よくわかる青年心理学 第 2 版				
	著 者	白井利明編				
	出版社	ミネルヴァ書房				
使 用 テキスト 2	書 名					
	著 者					
	出版社					
参考図書						
授業形態	<input checked="" type="checkbox"/> 講義 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 演習 ・ 実習 ・ 実験 ・ その他 ()					
<授業の目的・目標> ・生涯発達の視点から、青年期における心身の発達の特徴について理解する。 ・青年期に生じやすい様々な問題について、心理・社会・生物学的視点から捉えることができるようになる。 ・青年期の発達課題を自分自身の問題として捉え、自己および他者を理解できるようになる。 ・保育者としての自己覚知を深め、保育の現場での支援に活用できるようになる。						
<授業の概要・授業方針> ・身近なテーマや親近感を感じることでできる内容を取りあげながら、グループワークや発言の機会を増やすなど学生の積極的な参加を促すことで、学生一人一人が自己理解を深められるような講義を行う。 ・内容が本人の嫌悪刺激となり、不快な感情を体験する可能性もあるが、対人援助者をめざすものの課題として捉え、学生自らが青年期の課題に気づき、対処法についても模索できる力を養えるよう、具体的な事例も活用しながら講義を進める。						
<成績基準・評価基準> ・小テスト(各講義時にその日のポイントをまとめる)…40点 ・試験…60点 * 授業態度、および学期末試験の得点を総合的に判断して評価する。						

<使用問題集・注意事項> ・講義時に提示する ・必要に応じて随時、資料を配布する
<授業時間外に必要な学修内容、関連科目、他> 幼児の心理学や保育の心理学、教育相談等の科目で学習した、保育者としての自己知覚やアイデンティティの獲得が、子どもや保護者へのよりよい支援につながることを再度復習し、対人援助者に求められる特性など自分なりの問題意識をもって講義に臨むことを求める。

授業科目名	青年心理学	
回	授 業 内 容	備 考
1	青年心理学とは？	
2	青年心理学の基礎：青年心理学が、ライフスタイルによる影響を受けやすいことを理解する①	
3	青年心理学の基礎：青年心理学が、ライフスタイルによる影響を受けやすいことを理解する②	
4	青年心理学の歴史：代表的な青年心理学の理論について学習する①	
5	青年心理学の歴史：代表的な青年心理学の理論について学習する②	
6	青年期とは何か？：青年期が発達段階において特別な時期であることを知る①	
7	青年期とは何か？：青年期が発達段階において特別な時期であることを知る②	
8	青年期の身体的発達：男女ともに急速に身体的に成長する時期であることを学習する①	
9	青年期の身体的発達：男女ともに急速に身体的に成長する時期であることを学習する②	
10	青年期の知的発達：知的発達、思考の発達において重要な時期であることを学習する①	
11	青年期の知的発達：知的発達、思考の発達において重要な時期であることを学習する②	
12	青年期の情緒的発達：情緒的には不安定な時期であり、過渡期を経て、安定した情緒を獲得する重要な時期であることを理解する①	
13	青年期の情緒的発達：情緒的には不安定な時期であり、過渡期を経て、安定した情緒を獲得する重要な時期であることを理解する②	
14	青年期の社会的発達：生徒（学生）から社会人へ移行する時期にあたり、この時期の社会性の発達が人間成長に大きく影響することを理解する①	
15	青年期の社会的発達：生徒（学生）から社会人へ移行する時期にあたり、この時期の社会性の発達が人間成長に大きく影響することを理解する②	

16	集中講義の概略と進め方についてのオリエンテーション	
17	青年期の思考と感情について理解する。	
18	青年期のパーソナリティの発達：心身の発達がパーソナリティの発達に大きな影響を与えることを理解する。①	
19	青年期のパーソナリティの発達：心身の発達がパーソナリティの発達に大きな影響を与えることを理解する。②	
20	現代社会における青年の特徴：現代社会が及ぼす青年への影響を踏まえ、現在の青年の特徴について考える①	
21	青年の職業観と今日の課題：現在の青年の職業観と、ニートやフリーターなどの問題について学習する②	
22	青年の自己形成：青年期の自我の発達とアイデンティティの確立について理解する①	
23	青年の自己形成：青年期の自我の発達とアイデンティティの確立について理解する②	
24	青年と不応：青年の不応の心理的背景について学習する①	
25	青年と不応：青年の不応の心理的背景について学習する②	
26	青年期の精神障害（1）：青年期における精神障害について理解する①	
27	青年期の精神障害（1）：青年期における精神障害について理解する②	
28	青年期の精神障害（1）：青年期における精神障害について理解する③	
29	青年期心理学を保育に活かすために	
30	試験	